

照会先：  
ディーター・シュワラー  
ブラックロック・ジャパン株式会社

03-4577-9000 (代表電話)  
[Dieter.schwaller@blackrock.com](mailto:Dieter.schwaller@blackrock.com)

\*本リリースは、2009年6月11日に米国で発表されたプレスリリースの日本語要約版です。

## ブラックロックによるパークレイズ・グローバル・インベスターズ (BGI) の買収について

ニューヨーク (2009年6月11日) –ブラックロック・インク (ニューヨーク証券取引所の取引略号: BLK) は、iシェアーズ・ビジネス (ETF、指数連動型上場投資信託ビジネス) を含むパークレイズ・グローバル・インベスターズ (以下、「BGI」といいます。) を買収することで、パークレイズPLC (以下、「パークレイズ」といいます。) と合意したことを発表致しました。この買収により、アクティブ運用及びパッシブ運用それぞれの分野において、業界のリーダー的存在であるブラックロックとBGIが一つの運用機関として統合され、ブラックロック・グローバル・インベスターズ (以下、「新ブラックロック」といいます。) の名称のもとで事業を展開することを予定しております。この買収により、新たな独立系運用機関として、新ブラックロックの受託資産額は2.7兆米ドル超となる見込みです。

なお、パークレイズは他社にBGIのiシェアーズ・ビジネスを売却することを先日発表しております。今後、パークレイズが同社から、新たに、ブラックロックによる買収条件と同等の提案を5営業日以内に受領しないことを前提として、パークレイズの取締役会はブラックロックによるBGI買収を承認し、パークレイズの株主に対し同意を求めることになっています。

新ブラックロックでは、これまで以上に幅広いアセット・クラス、運用手法を用い、お客様に対して、そのご事情に応じたソリューションをご提供します。BGIの商品開発力、リスク分析とクオンツ運用、インデックス運用、及びリタイアメント・ソリューション分野における実績と、ブラックロックが得意とするアクティブ運用や、お客様に応じたソリューション、リスク・マネジメントは、相互に補完し合うものと考えております。

新ブラックロックでは、投資一任契約、投資信託、ETF、ヘッジファンド等を通して、グローバル市場に幅広くアクセスし、株式、債券、キャッシュ・マネジメント及びオルタナティブ等の運用商品をお客様にご提供してまいります。

ブラックロックの投資信託プラットフォームにiシェアーズが加わることにより、個人投資家の個別ニーズに合ったポートフォリオについての提案力を一層高めることができると考えています。iシェアーズは、ETFの分野で業界を牽引するプラットフォームであり、世界で350以上のファンドにおいて、3,000億ドル超の運用資産を有しています。iシェアーズのビジネスは急速に拡大しており、過去3年間で投資信託及びETFの運用資産残高ランキングで上位3位に位置づけるまでとなっています。

# BLACKROCK

新ブラックロックでは、人材、分析ツールや資産規模、グローバルベースでの存在感や各地域市場における見識等の幅広い面で、お客様の投資目的に対応するために必要な体制が一層拡充されます。全てのアクティブ運用商品における超過収益の獲得は引き続き最優先事項として取り組むと同時に、パッシブ運用戦略においては、より効率的にベータをご提供していくことにも注力して参ります。

リスク・マネジメント及びアドバイザー業界のリーダーであるブラックロック・ソリューションズにおいても、幅広い顧客層に対する更なる機能やサービスの拡張が期待されます。

今般行われるグローバルベースの統合は、各国関係当局による承認を前提として、2009年12月までを目処に完了を予定しており、バークレイズは新ブラックロックにおいて19.9%の持分を有することになります。新ブラックロックにおいては、バークレイズの投資銀行部門及びプライベート・バンク部門との関係を強化して参ります。

この買収により、新ブラックロックは世界24ヶ国に9,000名超の社員を擁し、世界の主要市場においてさらに存在感を増すこととなります。米国においては、BGIが本部を置くサンフランシスコ拠点をはじめとして複数の拠点が加わることで規模を拡大することになります。

## 買収の条件について

ブラックロックは自社株3,780万株による株式交換及び現金66億ドルによってBGIを買収します。これは、新会社であるブラックロック・グローバル・インベスターズの株式のうち19.9%の経済的持分となり、議決権持分では4.9%になります。買収の条件として、バークレイズによるブラックロック株式の売買について幾つかの制約がある一方、ブラックロックが今後株式を発行した場合、保有比率を維持する権利も有しています。

現金部分については、現時点での保有現金、銀行からの融資、及び一部の機関投資家に対して発行される株式から調達する予定です。

今回のグローバルベースの買収は、バークレイズの株主による承認、関係当局による承認、顧客の同意、一般的な条件を前提としています。

今回の件に関しまして、ブラックロックはシティ及びクレディ・スイスを金融アドバイザーの主幹事として採用しました。さらにバンク・オブ・アメリカ・メリルリンチ証券、モルガン・スタンレー、ペレラ・ワインバーグ・パートナーズからもアドバイスを受けました。また、法務アドバイザーにはスキヤデン・アープス・スレート・メー&フロム法律事務所を採用しました。

## ブラックロックについて

ブラックロックは、世界有数の資産運用会社であり、ニューヨーク証券取引所に上場しています。2009年3月末現在、ブラックロックが運用する債券、株式、短期資金、オルタナティブ運用、並びに不動産の資産総額は約1.28兆米ドル（約126兆円）に達しています。

ブラックロックは、ブラックロック・ソリューションズ (BlackRock Solutions®) を通じて資本市場における専門性と独自のシステム及び技術を融合させ、リスク管理及びアドバイザー・サービスを提供しています。ブラックロック・ソリューションズのリスク管理及び全社的



運用プラットフォームの提供に関わるサービスの契約資産残高は約7兆米ドルとなっています。

ブラックロックはニューヨークに本拠を置き、世界21カ国の拠点に社員を擁し、北米、南米、欧州、アジア、オーストラリア、アフリカ、中東のお客様にサービスを提供しています。

更に詳しい情報に関しましては、ブラックロックのウェブサイト [www.blackrock.com](http://www.blackrock.com) (グローバル) をご参照ください。

## 注意事項について

本プレスリリースその他ブラックロックが公表する内容については、ブラックロックの将来の財務・事業成績や戦略、期待に関して、米国1995年私募証券訴訟改革法において定義される「将来の見通し」が含まれていることがあります。「将来の見通し」には、「傾向」、「潜在的」、「機会」、「パイプライン」、「信じる」、「満足している」、「期待する」、「見込む」、「現行の」、「意図」、「見積み」、「立場」、「想定する」、「展望」、「継続する」、「保持する」、「維持する」、「持続する」、「追求する」、「達成する」などの語句や「つもりである」、「であろう」、「はずである」、「可能性がある」、「かもしれない」などの将来または仮定を示す動詞が用いられています。

ブラックロックは、「将来の見通し」が時間の経過とともに変化する数多くの想定、リスク、不確定要素に左右される点に、注意を喚起しています。「将来の見通し」は発表日現在のものに過ぎず、また、ブラックロックは「将来の見通し」を更新する義務を負わず、更新する保証も致しません。実際の結果が「将来の見通し」で見込まれている結果と著しく異なったり、将来の結果が過去の実績と著しく異なったりする可能性があります。

ブラックロックのSEC向け報告書でこれまでに開示されている要因や本プレスリリースの他の箇所特定されている要因のほか、実際の結果を「将来の見通し」や過去の実績と著しく異なるものにする可能性のある要因として、以下のものが挙げられます。(1) 事業のイニシアチブや戦略の導入、撤回、成功およびその時期、(2) 商品・サービスの需要や運用資産額の変動をもたらす可能性がある政治・経済・産業情勢、金利環境、あるいは金融・資本市場の変化、(3) ブラックロック運用商品の相対的および絶対的な運用成績、(4) 競争激化の影響、(5) 資本改善策の影響、(6) 将来の買収あるいは企業分割の影響、(7) 不利な訴訟結果、(8) 自社株買い戻しの程度および時期、(9) 技術革新の影響、程度、時期および知的財産保護の充実度、(10) ブラックロック、バンク・オブ・アメリカ、メリルリンチ及びPNCに関わる法規制及びその改正並びに政府機関の規制・監督・執行行為の影響、(11) 経済全般、国内や地域の金融・資本市場、特定産業、およびブラックロックに悪影響を及ぼす可能性のあるテロ活動や国家間の対立、(12) 優秀な人材を確保し、その定着を図る能力、(13) ブラックロックの投資資産の価値の変化 (14) ブラックロックが稼得するアドバイザー報酬額に悪影響を及ぼす可能性のある外国為替相場の変動、(14) 税制改正の影響および当社の税務上のポジション全般、(15) 課税立法の変更、及び企業の税制ポジション、(16) 従来の運用資産と並んで旧Quellos資産をオペレーションと共に効果的に運用するブラックロックの能力、(17) ブラックロックがその商品の販売を維持できるかどうか、(18) ブラックロックがその商品をその時々に応じて販売支援を提供する影響 (19) 他の金融機関及び他の金融機関が有する商品のパフォーマンスの悪化等の影響 (20) パークレイズ事業を円滑に既存事業に統合するブラックロックの能力。